

調査室紹介

～多士多才の8名の調査室～

当会調査室には8名の非常勤嘱託弁護士が所属し、当会職員や会員の協力を得て、案件に応じて単独あるいはチームを組んで調査室の職務を担当する。会員に身近な職務では、弁護士会照会請求手続の審査がある。『弁護士会照会制度一活用マニュアルと事例集一』〔第3版〕の書籍のほか、当会ホームページの会員専用ページ（トップページ＞弁護士会関連情報＞弁護士会照会）に要領と類型別の書式ひな型等を掲載している。そのほか、当会を被告とする訴訟の代理、会則や規則等の見直しに伴う整合性調査や条項案作成、会長から委嘱される個別案件の調査、会費免除申請の審査等を行い、常議員会等で説明のために立会することもある。なお、今年度から人権救済調査室が新設され、佃嘱託（45期）が専属の担当として異動した。

今年度の調査室には、川畑嘱託（52期）と花崎嘱託（48期）に代わり、野球を愛好する猫好きの安田嘱託（56期）と、犬も猫も好きという竹下嘱託（53期）の2名が加わった。また、昨年11月より犬が好き！な



後列左から 寺町東子(46期) 鹿野真美(53期)
中井陽子(54期) 相澤和義(56期)
前列左から 杉山和也(57期) 竹下洋史(53期)
安田伸一(56期) 砂川祐二(53期)

寺町嘱託（46期）が弁護士紹介センターの専門担当として執務している。調査室4年目で今年度から室長を務める、飼うのなら犬派の鹿野嘱託（53期）は統率力を発揮してにこやかに調査室を牽引し、同じく4年目の犬と猫は少し苦手な中井嘱託（54期）は中堅として調査室を盛り立てている。3年目の猫派砂川嘱託（53期）、2年目の猫派相澤嘱託（56期）とブルドッグ派杉山嘱託（57期）は職務の理解をさらに深めて邁進している。よろしくお願いします。

広報室紹介

～2010年、広報に新時代の風が吹く～

本年度の広報室嘱託は、6年目の臼井一廣嘱託（55期）と1年目の城崎建太郎嘱託（58期）の2名である。なお、昨年10月末に3期6年の任期を終えた中島美砂子前嘱託（49期）は、昨年12月から新設された参与員としてサポートしている。

広報室の任務は、①LIBRAの編集、②ウェブサイトの企画運営、③広報関連の書籍やパンフレットの制作、④市民や報道関係者との懇談会の企画・運営、⑤広報活動に必要な情報の収集などであり、広報委員会、広報課とともに日々取り組んでいる。⑤に関して付言すれば、広報室嘱託は「東京弁護士会として何を広報すべきか」を常に考えながら、理事者会をはじめとする各種会合への出席や事務局職員との積極的な交流を通じて日頃から情報収集に努めていることが活動の特徴といえよう。

広報室は、昨年度「当会の広報活動に関する提言



左から
中島美砂子(49期) 城崎建太郎(58期) 臼井一廣(55期)

～今後3年間にに向けて」を作成し、本年3月24日開催の常議員会において、同提案を参考に本会の広報の充実を図ることが確認された。喫緊の課題は、法律相談をはじめとする各種事業の広報の充実とウェブサイトのリニューアル。また定期的に各委員会の広報担当者の会合を主宰し、情報・ノウハウの共有を目指す。市民の人権問題・司法制度に対する関心の高まりや弁護士の急増など大きな転換期を迎えている今、本会が市民や会員に何を伝えていくべきか、広報室は、より充実した広報を目指し、精力的に活動していきたい。